

令和5年度 活動報告書



国立大学法人
北海道国立大学機構

帯広畜産大学
産学連携センター

■ 目次

・ 活動報告書発行にあたって	1
・ 組織体制	2
・ 第4期中期計画と令和5年度実施結果	3
・ 活動実績	5
・ 活動実績詳細一覧	6
・ 産学連携センター内会議議題等一覧	8
・ 受託研究・共同研究受入実績の推移	13
・ 企業等集積プラットフォームニュースレター (vol.5~vol.10)	14

■令和5年度 活動報告書発行にあたって

コロナ禍が落ち着きを見せているものの、国際情勢を取巻く環境は、ウクライナだけでなく、中東の情勢悪化も加わり、更に厳しくなりそうな様相を見せています。そのしわ寄せは、国内のあらゆる産業に大きく影響を及ぼし、ここ十勝においても例外なく、基幹産業である第1次産業の行く末が案じられるところです。

地域に貢献する産学連携センターに就任以来、何ができるか考え続ける中で、一昨年は、十勝管内の全農協を回り、昨年は十勝管内の全町村で、地域の皆様と直接対話し、最新の情報をいただくとともに、現場の方々からの要望をお聞きしてきました。

たくさんの課題がある中、本学が力になれるものとして、昨年度は、初めての試みとして北海道酪農の課題解決に向けたミルク&チーズコンソーシアム形成に向けた畜産シンポジウムを7月に開催、9月には「これからの酪農のあり方とは」と題して産学官金連携交流会、11月には、十勝の研究6機関が集まるスクラム十勝シンポジウムにおいて「食料安全保障の強化に向けて」と題し、地域の皆さんからいただきました課題に対して専門家の意見を交えながら課題解決への深堀をしてきました。

これらの活動を通じて企業等集積プラットフォームの参画機関が84機関まで広がり、その中から連携の取れた企業を中心に未利用資源の有効活用を目指したコンソーシアムが立ち上がりました。今年度は、ミルクやチーズの需要拡大に向けた教育研究を推進するコンソーシアムを立ち上げる予定です。さらに地域の金融機関の皆様には、これらの活動を加速させるために寄付金をいただき、産学官金一体となり、地域の課題解決に向けた具体的なプロジェクトを構築し推進してまいりたいと思います。

経営統合した北見工業大学や小樽商科大学と連携した農商工連携プロジェクトも順調に進み、実証フェーズに入るテーマもできてまいりました。また今年度は、本学の恵まれた環境にある圃場や新牛舎を有効活用し、新技術のフィールドにおける実証試験を加速する「次世代農畜産技術実証センター」が立ち上がる予定です。これら大学関係部署と連携しながら地域に貢献する産学連携をさらに強化して取り組んでまいりたいと思います。

引き続き皆様の、ご指導ご鞭撻をいただけますようよろしくお願い申し上げます。

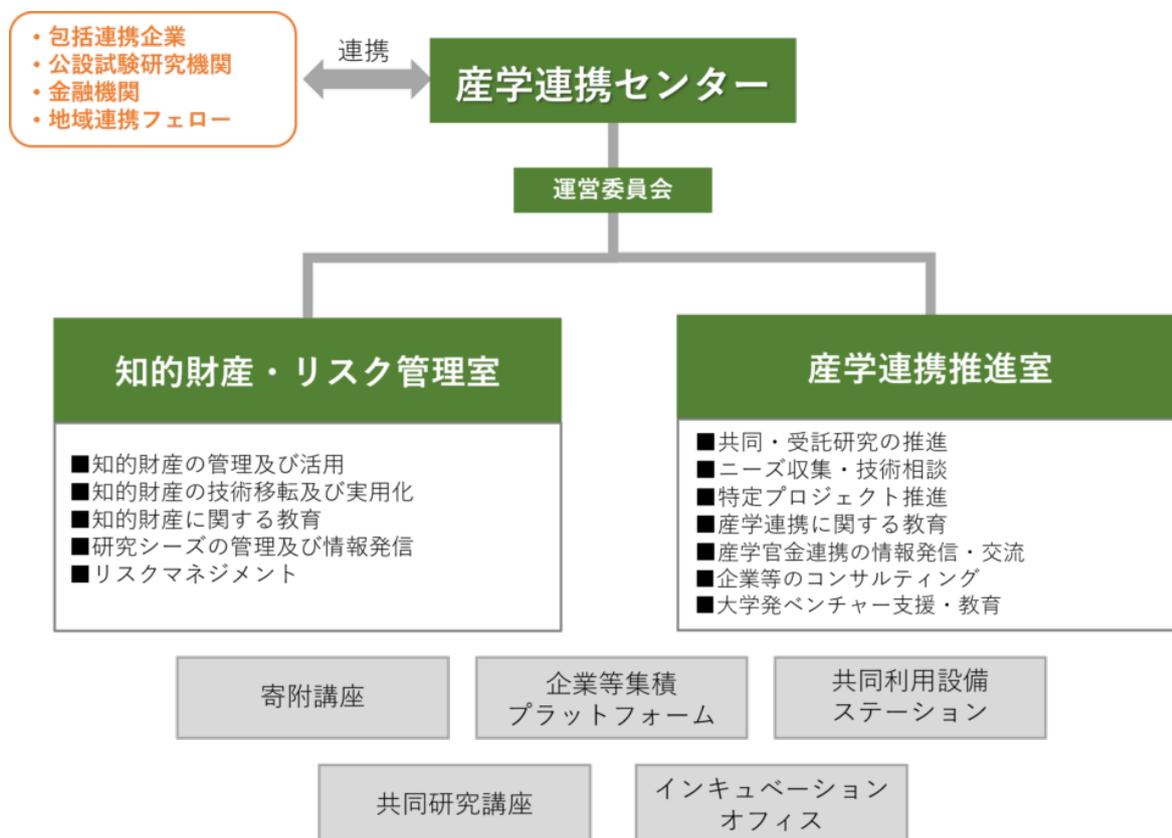
令和6年4月
国立大学法人北海道国立大学機構
帯広畜産大学 産学連携センター長
岡 田 繁

令和5年度 組織体制

1. スタッフ

センター長	岡田 繁
副センター長	東 陽介（准教授・産学連携センター）
産学連携推進室長	河野 洋一（准教授・環境農学研究部門）
産学連携担当教員	大庭 潔（特任教授・産学連携センター）
知的財産・リスク管理室長	西川 義文（教授・原虫病研究センター）
共同利用設備ステーション長	得字 圭彦（准教授・人間科学研究部門）
マネージャー（知財担当）	嘉屋 元博
研究支援課主任（コーディネーター）	高橋 悠

2. 体制図



産業人材育成室は組織改編により、令和5年7月1日に教務課所掌に変わりました。

■第4期中期計画と令和5年度実施状況

第4期中期計画（令和4年から令和9年まで）

計画番号 26

令和3年度までに構築したインキュベーションオフィス入居企業との連携体制、企業等集積プラットフォームをもとに、地域の主要産業の活性化や課題解決に寄与するとともに、新たな外部資金獲得を目的とした2件以上の研究コンソーシアム及び共創ファンドを設立する。

また、オープンイノベーションセンターとの連携により、社会実装につながる小樽商科大学及び北見工業大学との研究開発を促進し、本学主導による地域課題解決を志向した分野融合型共同・受託研究を8件以上実施する。

令和5年度実施計画

- ★企業等集積プラットフォーム入会への呼び水とするため、産学官金交流会を実施する。
企業等集積プラットフォーム内企業等との連携により、研究コンソーシアム（1件）を設置するとともに、さらなる研究コンソーシアムの形成に向けた体制整備を図る。
- ★分野融合型の新たな受託・共同研究を企画・実施（2件）する。
- ★令和6年度までの共創ファンドの設立に向けた寄附金を獲得すると同時に一部制度を試行的に実施する。

令和5年度実施結果

- 企業等集積プラットフォーム参画者や十勝管内全市町村ヒアリングを通して収集したニーズを基に交流会（畜産シンポジウム、産学官金交流会、交流会 mini、スクラムとかちシンポ等）を企画実施した。これにより、有料の「地域循環・データ駆動型未利用資源活用コンソーシアム」を立ち上げると同時に、酪農業界の教育研究に寄与する「ミルク&チーズコンソーシアム」の設立準備を始めた（地域共創ファンドコンソーシアム型採択中）。これにより、企業等集積プラットフォーム内企業の参画企業は80社を超えた。
- オープンイノベーションセンターや機構各大学と連携し、中札内村と連携した議会DBの構築・分析による地域農業課題解決のアプローチ等、分野融合型の新たな共同研究を企画・実施（3件）している。
- 令和6年度までの共創ファンドの設立に向けた寄付金の獲得（延600千円）を着実に進め、既存の学内予算と組み合わせることで「令和5年度帯広畜産大学地域共創ファンド」による支援を試行的に実施した（例 前述のミルク&チーズコンソーシアム形成支援や北見工大と連携した野生動物のロードキル対策課題推進）。

計画番号 29

大学の更なる研究環境の充実のため、研究設備・機器共用の経営戦略への位置づけの明確化、中長期的かつ戦略的な整備、運用等を目的とした「戦略的設備・機器運用計画（共用設備・機器マスタープラン）」を令和5年度までに策定し、全学的な設備共用体制を再構築するとともに、産業界や外部研究機関との研究設備・機器の相互利用や技術協力等の連携を推進する。

令和5年度実施計画

- ★北海道国立大学機構が策定する「研究設備・機器の共用方針」のもと、本学「共用設備・機器マスタープラン」を策定する。
- ★北見工業大学の共用設備センターとの連携を推進し、設備・機器の相互利用を促進するための施設見学会や共同セミナーを実施する。また、技術職員の育成を協力して行い、機器・設備共用システムの共通化に向けた議論を開始する。
- ★公設試または企業等との新たな連携先を開拓する。

令和5年度実施結果

- 北海道国立大学機構が策定する「研究設備・機器の共用方針」のもと、共用機器設備ステーション内に「研究設備・機器マスタープラン」WGを設置し、策定した2024暫定版を運営戦略会議に報告した。
- 北見工業大学の共用設備センターと連携し、設備・機器の相互利用を促進するための施設見学会の実施（4月）や、本学主催の共用機器利用促進セミナー（11月）を共催した。また、本学教員の実験器具の加工を北見工大に依頼（2件）するなどの技術協力を実施した。技術職員の育成については、技術補佐員が近赤外分析セミナー（10月）および北大コアファシリティーシンポジウム（1月）に参加した。
- 外部機関からの利用促進の一環として、本学との連携協定を締結している機関の利用に対し、暫定的に学内向け料金を適用することとした方策を実施した結果、今年度は十勝家畜衛生保健所ととち財団による利用があった。なお、とち財団に関しては、今後の包括連携協定の締結に合わせて、機器・設備の相互利用について、令和6年度からの開始に向け、担当者レベルでの準備を進めた。

■令和5年度 活動実績

● 産学連携イベント開催等、受託研究・共同研究

- ・第1回畜産シンポジウム開催（7月25日）
- ・産学官金連携交流会開催（9月25日）
- ・スクラム十勝シンポジウム（10月24日当番機関として開催）
- ・産学官金連携交流会 mini 開催（12月7日）
- ・地域連携フェロー連絡会議（5月11日、1月24日）
- ・企業等集積プラットフォームニュースレター発行6回
- ・受託研究、共同研究受入総件数 144件
- ・受託研究、共同研究受入合計額 2億900万円

● 出展・技術移転、知的財産権

- ・北洋銀行ものづくりサステイナフェア（7月20日）
- ・イノベーション・ジャパン 2023 出展（8月24-25日）
- ・北海道理工系大学・高専・公設試新技術説明会（10月3日）
- ・十勝アグリ&フードサミット（10月12日）
- ・ビジネス EXPO（11月9-10日）
- ・発明等届 11件
- ・特許出願 10件
- ・商標出願 3件
- ・特許登録 3件
- ・商標登録 1件

● 共同利用設備ステーション

- ・登録機器
共通機器室管理：72台、教員管理：28台（学内）
新規導入機器：1件（超純水製造装置）
新規登録機器：9台
- ・利用申請者 215名
- ・機器説明会 14回開催
- ・北見工業大学共用設備センターと第2回共用機器利用促進セミナーを共催。
- ・教員参加による北見工業大学共用設備センターの施設見学を実施。
- ・北見工業大学共用設備センターと共通機器の相互利用を開始。
- ・学外の企業や研究機関による機器の有償利用開始。

令和5年度 活動実績詳細一覧

活動実績	開催日・場所
[施設見学] 北見工業大学共用設備センターの施設見学	令和5年4月17日 北見工業大学
[公募型共同研究の実施] 帯広市との連携事業「学生と地域がつながるまちづくり支援事業」 令和5年度 帯広畜産大学オープンイノベーション促進共同研究	令和5年5月 ～令和6年3月
[会議開催] 帯広畜産大学地域連携フェロー連絡会議	令和5年5月11日、令和6年1月24日 帯広畜産大学
[会議出席] チャレンジフィールド北海道に係る会議	令和5年6月9日 コラボほっかいどう
[技術相談] 帯広畜産大学・とかち財団・帯広信用金庫主催「ものづくりワンストップ相談会」	令和5年9月27日、12月18日 とかち財団 LAND
[セミナー参加] 令和5年度第1回北海道地区大学等安全保障貿易管理ネットワーク勉強会	令和5年6月9日 北海道大学学術交流会館
[展示会出展] 北洋銀行ものづくりサスティナフェア	令和5年7月20日 アクセスサッポロ
[セミナー開催] 第1回畜産シンポジウム	令和5年7月25日 帯広畜産大学
[展示会出展] イノベーション・ジャパン 2023～大学見本市～	令和5年8月24、25日 東京ビックサイト
[展示会参加] 第13回農業Week（国際スマート農業 EXPO 等）	令和5年9月13日 幕張メッセ
[セミナー参加] 農研機構 130周年記念シンポジウム「科学技術イノベーションで実現する食と農の未来」	令和5年9月20日 イイノホール
[セミナー開催] 令和5年度 帯広畜産大学 産学官金連携交流会	令和5年9月25日 帯広畜産大学 （現地&オンライン開催）
[セミナー参加] チャレンジフィールド北海道「地域課題・ニーズ検討会@東川町」	令和5年9月26日 東川町
[イベント開催] JST 北海道理工系大学・高専・公設試新技術説明会	令和5年10月3日 オンライン開催
[会議出席] 帯広畜産大学・道総研連携協議会	令和5年10月5日 北海道立総合研究機構
[展示会出展] 十勝アグリ&フードサミット	令和5年10月12日 ベルクラシック帯広
[セミナー参加] 令和5年度第2回北海道地区大学等安全保障貿易管理ネットワーク勉強会	令和5年10月20日 北海道大学
[展示会参加] ツーリズム EXPO ジャパン 2023	令和5年10月26日 インテックス大阪
[セミナー開催] スクラム十勝シンポジウム～食料安全保障の強化に向けて～	令和5年10月24日 十勝プラザ （現地&オンライン開催）
[会議出席] 令和5年度北海道地域大学等知的財産部門連絡会議	令和5年10月30日 札幌医科大学

[セミナー開催] 第2回共用設備利用促進セミナー	令和5年11月6日 オンライン開催
[展示会出展] ビジネス EXPO 第37回北海道技術・ビジネス交流会	令和5年11月9,10日 アクセスサッポロ
[会議出席] JST産連事業広聴会（意見交換会・交流会）	令和5年11月15日 TKP ガーデンシティ PRE
[展示会参加] アグリビジネス創出フェア	令和5年11月20,21日 東京ビックサイト
[セミナー参加] ポテトフォーラム	令和5年12月5日 ANA クラウンプラザホテル 札幌
[セミナー開催] 第7回帯広畜産大学 産学官金連携交流会 mini	令和5年12月7日 帯広畜産大学 （現地&オンライン開催）
[セミナー参加] 令和5年度第2回グリーンテクノバンク競争の研究資金説明会	令和6年1月9日 北農ビル19階（札幌）
[セミナー参加] 第1回北海道大学コアファシリティシンポジウム	令和6年1月18日 アスティ45
[セミナー参加] ABSセミナー	令和6年1月25日 オンライン
[セミナー参加] 島根・北海道えごま油研究交流会	令和6年2月3日 島根大学
[展示会参加] 国際バイオマス展	令和6年2月28日～3月1日 東京ビックサイト
[展示会参加] スマートエネルギーウィーク	令和6年3月1日 東京ビックサイト
[会議出席] R5年度HSFCプラットフォーム推進会議	令和6年3月25日 Web参加
[セミナー開催] 北海道国立大学機構主催 FSDS 研修学内知財セミナー	令和6年3月28日 オンライン開催

■産学連携センター一会議議題等一覧

1 産学連携センター運営委員会

第1回（持ち回り） 令和5年4月13日	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度産学連携センター客員教員の選考について
第2回 令和5年5月19日	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部機関との連携・協力に関する協定の締結について その他 <p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業等集積プラットフォームにおける研究開発コンソーシアム設置要綱の制定等について 令和5年度計画について 産学連携センターの活動状況等について その他
第3回（持ち回り） 令和5年9月20日	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部機関との連携・協力に関する協定の終了について
第4回 令和6年1月25日	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> 産学連携センター長及び副センター長候補者の推薦について 客員教員候補者について その他 <p>[方針審議]</p> <ul style="list-style-type: none"> インキュベーションオフィスのあり方について <p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度計画の進捗状況について 産学連携センターの活動状況等について 寄附講座・資源循環環境学講座の期間延長について 大学発ベンチャーの認定にかかる期間延長について <p>その他</p>
第5回（持ち回り） 令和6年3月8日	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> 帯広畜産大学産学連携センター知的財産・リスク管理室会議細則の制定について
第6回 令和6年3月28日	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域連携フェローの称号付与について その他

2 産学連携推進室会議

第1回 令和5年6月1日	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度産学官金連携交流会等の企画について 企業等集積プラットフォーム研究コンソーシアム設置について <p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> 産学連携に係る年度計画およびKPIについて 技術相談対応、受託・共同研究の受入状況について 令和5年度 研究活性化支援策について
-----------------	---

<p>第 2 回 令和 6 年 3 月 22 日</p>	<p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 産学連携推進室の活動報告について ▪ 技術相談対応、受託・共同研究の受入状況について <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 新規コンソーシアムの設置準備の状況について
----------------------------------	--

3 知的財産・リスク管理室会議

<p>第 1 回 令和 5 年 4 月 11 日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 発明届について (5-1) ▪ 発明届について (5-2) ▪ 審査請求について (31-1) ▪ 審査請求について (31-7, 8) ▪ 特許権の維持について (27-11) ▪ 今年度の出展について
<p>第 2 回 令和 5 年 月 30 日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 審査請求について (2-3) ▪ 特許権の維持について (26-7) ▪ 特許権の維持について (22-8) <p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 知的財産管理費収支について (令和 4 年度)
<p>第 3 回 令和 5 年 7 月 4 日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 発明届について (5-3) ▪ 発明届について (5-4) ▪ 発明届について (5-5) ▪ 特許権の承継について (5-6)
<p>第 4 回 令和 5 年 8 月 1 日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 審査請求について (2-4-1, 2) ▪ 特許権の維持について (21-16) ▪ 特許権の維持について (24-11) <p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 研究成果有体物システム (MMC) について
<p>第 5 回 令和 5 年 9 月 8 日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ PCT 出願について (4-4) ▪ 商標出願について (S5-1) ▪ 審査請求について (3-1) ▪ 特許権の維持について (26-8) ▪ 特許権の維持について (26-11) <p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 三大学発明届他書式統一について
<p>第 6 回 令和 5 年 10 月 10 日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 発明届について (5-7) ▪ 審査請求について (2-5) ▪ 特許権の維持について (23-8)

	<ul style="list-style-type: none"> ▪ マテリアルマネージメントコンソーシアムについて
<p>第7回（持ち回り） 令和5年10月18日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 発明の特許出願について（5-7） ▪ 意匠権の権利維持について（129-1）
<p>第8回 令和5年11月17日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 特許権の維持について（23-8） ▪ 特許権の維持について（24-8） <p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 特許登録について（30-7） ▪ 特許登録について（30-8）
<p>第9回 令和5年12月19日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 発明届について（5-8） ▪ 特許権の維持について（21-3, 4） ▪ 特許権の維持について（28-10）
<p>第10回 令和6年1月17日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 発明届について（5-9） ▪ 発明届について（5-10） ▪ 特許権の維持について（19-1） ▪ 大学発ベンチャーの認定（延長申請）について
<p>第11回 令和6年2月28日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 審査請求について（2-9） ▪ 審査請求について（2-11） ▪ 特許権の維持について（16-18） ▪ 特許権の維持について（20-1） ▪ 知財リスク管理室会議細則の制定について <p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ MMCシステムの維持に向けて
<p>第12回（持ち回り） 令和6年2月29日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ PCT出願について（4-8）
<p>第13回 令和6年3月27日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 発明届について（5-11） ▪ 審査請求について（2-1） ▪ 特許権の維持について（17-4） <p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 北洋銀行知財ビジネスマッチングについて

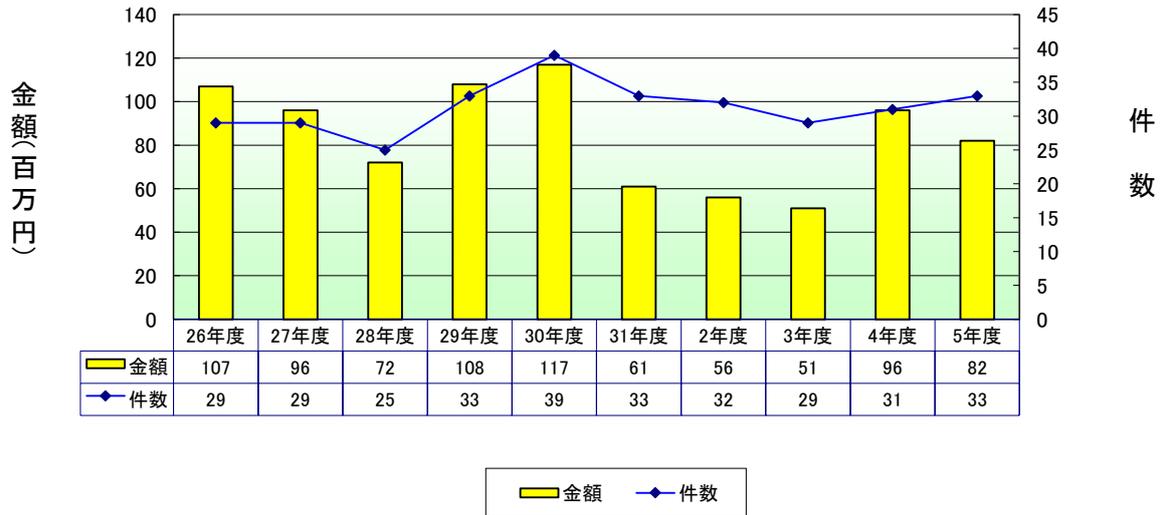
4 共同利用設備ステーション会議

<p>第1回（持ち回り） 令和5年4月26日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 学内単価の更新に伴う利用料金の改定について
<p>第2回（持ち回り） 令和5年5月26日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 学内高額機器の共通機器登録について ▪ 偏光ゼーマン原子吸光光度計の共通機器登録について <p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 第1回会議（持ち回り審議結果）
<p>第3回 令和5年6月26日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 国立大学法人北海道国立大学機構の研究設備・機器共用方針について ▪ 令和5年度計画について ▪ 論文投稿等の際の謝辞記載について ▪ 今年度予算と執行予定について ▪ マルチタイプ ICP 発光分光分析装置 機器管理責任者について ▪ 超純水製造装置の運用について <p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 北見工業大学共用設備センターの訪問について ▪ 共通機器として登録された機器等について ▪ 共通機器室利用者登録について ▪ 機器説明会について
<p>第4回 令和5年10月4日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 第2回共用機器利用促進セミナーの開催について ▪ 機器分析センター協議会の正会員加入について ▪ 機器の廃棄等について ▪ 研究機器マップ更新について ▪ 共通機器室アンケート実施について <p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 年度計画の進捗について ▪ 第一四半期利用料収入と予算執行状況について ▪ 共通機器室利用者登録について ▪ 機器説明会について ▪ 会計検査院による会計実地検査について
<p>第5回 令和5年12月19日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 次年度の予算要求について ▪ 研究設備機器マスタープラン策定WGの進捗状況について ▪ 連携協定を締結した研究機関にかかる利用料金の設定について ▪ 「利用上の注意事項」変更について ▪ 機器利用料の見直しについて（全自動元素分析装置ほか） ▪ 凍結乾燥機の受け入れについて

	<p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 会計検査院による会計実地検査について ▪ 第2回共用機器利用促進セミナーの開催について ▪ 令和5年度機器分析センター協議会 総会・シンポジウム・技術職員会議について ▪ 共通機器室アンケート結果について ▪ 第2四半期利用料収入と予算執行状況について ▪ 共通機器室利用者登録について ▪ 機器説明会について
<p>第6回 令和6年3月22日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 連携協定を締結した研究機関にかかる利用料金の設定について <p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 令和5年度 共同利用設備ステーション活動報告 ▪ 利用料収入と予算執行状況について ▪ 共通機器室利用者登録について ▪ 機器説明会について ▪ 研究設備機器マスタープラン策定の進捗状況について

■ 受託研究・共同研究受入実績の推移

受託研究



共同研究





帯広畜産大学 企業等集積プラットフォーム

発行：帯広畜産大学 産学連携センター
HP : <https://www.obihiro.ac.jp/facility/crcenter/>
E-mail : crcenter@obihiro.ac.jp

NEWS LETTER

Vol. 5 2023.5.8

NEWS

プラットフォームの参画状況

参画機関は 69 社 (83 名) です！ (5/8 時点)

産 62 社
学 2 機関
官 4 機関
金 1 機関

プラットフォーム HP は [こちら](#)

企業等集積

プラットフォーム

大学と企業等の
連携のタネを増やして育てる。

本プラットフォームでは、
帯広畜産大学 産学連携センターを軸とした
会員企業等の相互交流を図り、
研究成果の円滑な社会実装を目指します。



企業等集積 プラットフォーム 成長中！

[帯広畜産大学企業等集積プラットフォーム](#)にご入会いただきありがとうございます。

プラットフォームでの情報をニュースレターにて定期的に配信していきます。気になる情報や分からないことがあれば [お問い合わせフォーム](#)までお寄せください！

畜大のミッション・ビジョン 公開しています。



*詳細は [こちら](#)

帯広畜産大学・カルビーポテト(株) の共同研究成果発表会を 開催しました！

3/15 に本学とカルビーポテト株式会社との共同研究である「持続的な加工用パレイショ栽培における適正施肥と土壌改良に係る技術普及」に関する研究成果発表会を本学講堂において開催しました。会場には、主に農業関係の方々を含む約 200 名が来場され、盛会のうちに終了しました。*詳細は [こちら](#)

(開催情報)

- ☞ 「GIS Day in おびひろ」セミナー
開催：5/25(木) 13:30~16:30
場所：学内原虫病研究センターPK ホール
*詳細は [こちら](#)
(入場無料 | 対面とオンライン)
- ☞ 「GIS Day in おびひろ」講習会
開催：5/26(金) 10:00~16:00
場所：学内農業情報基盤(AI)センター
講師：ESRI ジャパン株式会社 講師
*詳細は [こちら](#) (入場無料 | 対面のみ)

GIS Day in おびひろ 2023 を開催します！

(1 日目) セミナー

～GIS と UAV の活用と可能性～

本学が共催するこの講演会では、GIS を用いた農業に関する研究を行っている 4 名の先生の講演があります。

(2 日目) ハンズオン講習会

GIS 未経験者を対象に基本的な操作方法を ArcGIS Pro と ArcGIS Online を使った実習が行われます。

*1 日だけの参加も可能です。

公募・セミナー情報 & お知らせ

ANNOUNCEMENT

公募・セミナー情報

この機会にぜひお申込みください。

●フードバレーとかち人材育成事業 マネジメントコース (基礎編) 「持続可能な企業・地域運営を学ぶ」

今年度は、持続可能でより豊かな地域づくりを目指す団体、企業・自治体の戦略立案・組織運営に必要な基礎知識の習得を目指す内容です。

(6/15～8/10 開催 | 実施時間 18:30～20:00 | 講義全 8 回 | 定員 10 名程度 | 6/2 正午締切)

* 詳細は [こちら](#) をご覧ください。

●「学生と地域がつながるまちづくり支援事業」の公募

本学と帯広市が、学生と地域とのつながりを強化することを目的として実施する事業です。十勝管内の企業・団体と学部生または大学院生の共同研究を支援するものです。

(研究期間：本年 7 月中旬～来年 2 月末 | 6/3 公募締切)

* 詳細は [こちら](#) (産学連携センター) へお問合せください。

「産学官金連携交流会 mini」テーマを募集しています！

テーマを一つに絞って講演 2 つと交流会で構成される産学官金連携交流会 mini では取り上げてほしいテーマを随時募集しています！交流会 mini は、研究コンソーシアムや共同研究グループ立ち上げのきっかけの場としてもご活用頂いています。

* 新年度のリクエストは、[お問い合わせフォーム](#)からお送りください。

(お知らせ)

帯広畜産大学 ちくだいパンフ 2023 のデジタル版を公開しています。本学が実施する教育に関する内容や、在学生や卒業生のインタビューなどを掲載しています。本学が得意とする専門分野で、皆様が抱える様々な課題の解決や、研究成果を社会へ還元するために産学連携センターは活動しています。まずはお問合せください。

* ちくだいパンフ 2023 は [こちら](#) をご覧ください。

【Web オープンキャンパス】公開しています

令和 4 年度のオープンキャンパスの特設ページです。

各ユニットの教員が専門分野を短くわかりやすく解説したミニ講義を web で公開しています。

- ・白藤 梨可 准教授 「マダニ学入門」
- ・萩谷 功一 准教授 「牛乳と乳生産」
- ・浅利 裕伸 准教授 「野生動物と人との軋轢を学ぶ」
- ・菅原 雅之 准教授 「日本酒醸造の効率化に向けた酒蔵との連携」
- ・三宅 俊輔 准教授 「北海道農業の現状に触れてみる？」
- ・中島 直久 助教 「農村生態工学～水田の生き物を例に～」
- ・春日 純 助教 「ブドウの樹液はなぜ春に滴る？」

* ミニ講義は [こちら](#) をご覧ください。

令和 5 年度オープンキャンパスは、7/29(土)に開催予定です。

(事前予約制・6 月中旬受付開始)

* 詳細は [こちら](#) をご覧ください。

PICK UP!

畜大研究情報

最近の研究情報などをピックアップしてお届けいたします。

〔受賞研究〕「動植物の環境ストレス応答に関する糖鎖生物学的研究」

生命・食料科学研究部門 堀内里紗 助教

生命・食料科学研究部門の堀内里紗助教が、「動植物の環境ストレス応答に関する糖鎖生物学的研究」で、ストレス存在下のイネ初期生長部位やメダカ腸管における糖鎖構造やその挙動について、研究成果を発表しました。

〔論文発表〕微細藻類ユーグレナと海藻のカギケノリの組み合わせが反芻家畜のメタン排出を軽減することを確認

生命・食料科学研究部門 西田武弘 教授

生命・食料科学研究部門の西田武弘教授と株式会社ユーグレナが共同で行った研究において、微細藻類ユーグレナと海藻のカギケノリの組み合わせが、反芻家畜から排出されるメタンの量を軽減することを確認しました。

帯広畜産大学 SDGs（勝毎電子版ジャーナル特別号）の完成について

産学連携センター

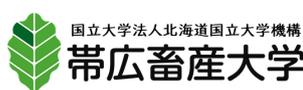
2022年から十勝毎日新聞社の紙面および電子版にて、本学のSDGsに関する研究シーズを紹介する特集記事が掲載されました。本学がSDGsに取り組んでいる分野を、教員の研究内容とともに紹介しています。このたび、その記事を集めた「帯広畜産大学SDGs勝毎電子版ジャーナル特別号」が完成しました。ぜひご覧ください。

*PDF版は[こちら](#)。

リクエスト・相談・お問い合わせフォーム

プラットフォームのみなさまからのリクエストや相談、お問い合わせを受付するフォームです。プラットフォームに関することや企画へのリクエストなど、どしどしお寄せください！

URL：<https://forms.gle/fojoUbsDsYDrm96w6>



帯広畜産大学は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています



発行：国立大学法人北海道国立大学機構
帯広畜産大学 産学連携センター
産学連携推進室
(担当：東・高橋・輿水)

〒080-8555 北海道稲田町西2線11番地
E-mail：crcenter@obihiro.ac.jp
TEL：0155-49-5771



帯広畜産大学 企業等集積プラットフォーム

発行：帯広畜産大学 産学連携センター
HP : <https://www.obihiro.ac.jp/facility/crcenter/>
E-mail : crcenter@obihiro.ac.jp

NEWS LETTER

Vol. 6 2023.7.5

NEWS

プラットフォームの参画状況

参画機関は **69社** (83名) です! (7/5時点)

- 産 62社
- 学 2機関
- 官 4機関
- 金 1機関

プラットフォーム HP は [こちら](#)

企業等集積

プラットフォーム

大学と企業等の
連携のタネを増やして育てる。

本プラットフォームでは、
帯広畜産大学 産学連携センターを軸とした
会員企業等の相互交流を図り、
研究成果の円滑な社会実装を目指します。



企業等集積 プラットフォーム 成長中!

帯広畜産大学企業等集積プラットフォームにご入会いただきありがとうございます。

プラットフォームでの情報を
ニュースレターにて定期的に配
信していきます。気になる情報
や分からないことがあればお問
い合わせフォームまでお寄せく
ださい!

北洋銀行 ものづくり サステナフェア 2023



ものづくりサステナフェア 2023 に参加します。

北海道ものづくり産業から持続可能な未来を創造することを目的とした、ものづくり産業の関係者が一堂に会する展示型商談会です。ご興味のある方はぜひご来場ください。

☎「ものづくりサステナフェア 2023」

開催：7月20日(木)10:00~17:00

会場：アクセスサッポロ(札幌市白石区)

*詳細は [こちら](#) (入場無料)

中小・小規模企業者を対象 とした SDGs 実践セミナー 開催します。

国立大学法人北海道国立大学機構教育イノベーションセンターでは、SDGs の具体的な実践に悩んでいる中小・規模企業の経営者や担当者を対象にした SDGs 実践セミナーを計 3 回開催します。

(受講無料 | 会場またはオンライン | 7/5 締切) ☎

*詳細は [こちら](#)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



第1回 6月26日(月) 終了

第2回 7月10日(月) 18:30~20:00

第3回 7月20日(木) 18:30~20:00



公募・セミナー情報 & お知らせ

ANNOUNCEMENT

公募・セミナー情報 この機会にぜひご参加ください。

○川と歩み 川に学び 明日を拓く～十勝川 100 年記念事業シンポジウム～の開催

帯広畜産大学野生生物保全管理技術養成事業の一環として、十勝川の治水・環境そして市民の生活との関わりを学ぶシンポジウムを帯広市民大学講座と連携して開催いたします。

日時：7/8（土）14:00～16:00 | 会場：帯広畜産大学 講堂（参加無料 | 詳細は[こちら](#)）

○「第 1 回 畜産シンポジウム」の開催

生産者から乳業関係者にいたる酪農関係者の皆様を対象として、北海道の酪農の課題解決に資するためのシンポジウムを開催します。生産者、農業・酪農関係団体含め、どなたでも参加できます。

日時：7/25（火）15:00～17:30 | 会場：帯広畜産大学講堂またはオンライン

* 第 1 部のシンポジウムは参加無料、第 2 部の情報交換会は会費 3,500 円です。

○「農畜産・工業接続型 MBA 特別コース」2024 年度 学生募集

帯広畜産大学及び北見工業大学大学院の修了者・修了見込者を対象とした、MBA（経営管理修士）の学位取得を目指す方向けのプログラムです。（10/27 提出書類必着 | 詳細は[こちら](#)）

「産学官金連携交流会 mini」テーマを募集しています！

テーマを一つに絞って講演 2 つと交流会で構成される産学官金連携交流会 mini で取り上げてほしいテーマを随時募集しています！交流会 mini は、研究コンソーシアムや共同研究グループ立ち上げのきっかけの場としてもご活用頂いています。

* 新年度のリクエストは、[お問い合わせフォーム](#)からお送りください。

イベント開催情報

○令和 5 年度オープンキャンパス開催 高校生と保護者の方を対象とした内容です。

ユニット展示ブース、施設見学・体験ツアー、相談コーナー等さまざまなプログラムを用意しております。

日時：7/29（土）9:00～16:00 | 会場：帯広畜産大学（詳細は[こちら](#)）

* 事前受付：7/14（金）17 時まで（先着順）



PICK UP!

畜大研究情報



最近の研究情報などをピックアップしてお届けいたします。

今回は、帯広畜産大学の教員が関わって、2022年までに公開になった特許等の一部をご紹介します。

No.188 特開 2022-038950 動物用カテーテル

獣医学研究部門 羽田 真悟 准教授

No.187 特開 2022-28334 自動走行システム

No.186 特開 2022-028333 作業車両用の自動走行ユニット

(発明当時) 佐藤 禎稔 教授

環境農学研究部門 藤本 与 助教

No.185 特開 2021-176822 トリパノソーマ症の治療薬及び予防薬

グローバルアグロメディシン研究センター 菅沼 啓輔 助教

No.184 特開 2021-161338 熱可塑性ポリウレタンの分解方法

生命・食料科学研究部門 大和田 琢二 教授

No.183 特開 2021-069370 乳酸菌、チーズの製造方法

生命・食料科学研究部門 中村 正 准教授

No.182 特開 2021-120360 住血吸虫症の治療及び／又は予防剤

原虫病研究センター 河津 信一郎 教授

No.181 特開 2020-180100 防除用製剤、並びに土壌処理方法

(発明当時) 加藤 健太郎 准教授

リクエスト・相談・お問い合わせフォーム

プラットフォームのみなさまからのリクエストや相談、お問い合わせを受付するフォームです。

プラットフォームに関することや企画へのリクエストなど、どしどしお寄せください！

URL : <https://forms.gle/fojoUbsDsYDrm96w6>



国立大学法人北海道国立大学機構
帯広畜産大学

帯広畜産大学は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています



発行：国立大学法人北海道国立大学機構
帯広畜産大学 産学連携センター
産学連携推進室
(担当：東・高橋・興水)

〒080-8555 北海道稲田町西2線11番地
E-mail : crcenter@obihiro.ac.jp
TEL : 0155-49-5771



帯広畜産大学 企業等集積プラットフォーム

発行：帯広畜産大学 産学連携センター
HP : <https://www.obihiro.ac.jp/facility/crcenter/>
E-mail : crcenter@obihiro.ac.jp

NEWS LETTER

Vol. 7 2023.9.1

NEWS

プラットフォームの参画状況

参画機関は 74 社 (88 名) です！

- 産 66 社
- 学 2 機関
- 官 4 機関
- 金 2 機関

プラットフォーム HP [はこちら](#)

企業等集積 プラットフォーム

大学と企業等の
連携のタネを増やして育てる。

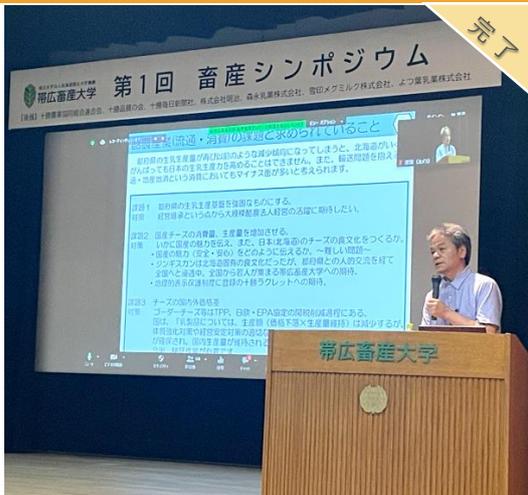
本プラットフォームでは、
帯広畜産大学 産学連携センターを軸とした
会員企業等の相互交流を回り、
研究成果の円滑な社会実装を目指します。



企業等集積 プラットフォーム 成長中！

帯広畜産大学企業等集積プラットフォームにご入会いただきありがとうございます。

プラットフォームでの情報を
ニュースレターにて定期的に配
信していきます。気になる情報
や分からないことがあれば、
[お問い合わせフォーム](#)までお寄
せください！



第 1 回畜産シンポジウムを 開催しました！

7月25日に「帯広畜産大学 第1回畜産シンポジウム」を開催しました。シンポジウムでは酪農の現状と課題を整理し、酪農経営と乳製品の需要創出、世界の乳文化に関する研究紹介を行い、牛乳・チーズ製造関係者の話題提供と意見交換を行いました。会場とオンラインで開催し、計 298 名の方にご参加いただきました。

* 詳細は [こちら](#)

令和 5 年度 産官学金連携交流会 “大人のオープンキャンパス” を開催します！

本学の研究開発活動の紹介と同時に教員との交流の場を設け、地域における産学官金連携活動を推進しています。今年度も皆様のご参加をお待ちしております。

【日付】令和 5 年 9 月 25 日 (月)

【会場】本学講堂/オンライン配信

* 詳細は [こちら](#)

令和5年度 産学官金連携交流会 大人のオープンキャンパス ～これからの乳牛飼養のあり方とは～

受付中

9/25(月)

帯広畜産大学 講堂 & オンライン配信 (第2部のみ)

第1部	13:30～14:30 (集合 13:00)	研究室訪問
第2部	15:00～17:30 (開場 14:30)	講演会
第3部	17:45～19:15	情報交換会

対象：地域の中小企業・団体等の産学官金関係者、学生など
申込みフォームまたは直前の参加申込書にてお申し込みください。
※切：9/19 (火)

第1部 研究室訪問

13:30 訪問先 (詳細は裏面をご覧ください。) 各研究室定員：5名

① 畜原研究室	生命・食料科学研究部門 准教授
② 後継研究室	グローバルアグロメディン研究センター 助教
③ 草場研究室 + 畜産フィールド科学センター新牛舎	畜産フィールド科学センター 准教授

14:30

第2部 講演会プログラム

15:00 開会挨拶 帯広畜産大学 長 野 秀 行





公募・セミナー情報 & お知らせ

ANNOUNCEMENT

公募・セミナー情報 この機会にぜひご参加ください。

●帯広畜産大学公開講座 令和5年度後期「市民開放授業」

学生が受講している授業科目の一部を市民の皆様公開しています。公開する授業科目は、基礎科学分野等の知識と興味を育むことを目的に開講している授業です。

(R5/10/2～R6/2/22の間で週1回(全15回程度)開催 | 1講座あたり9,200円 |

学内講義室にて対面受講またはオンライン | R5/9/22締切)

*詳細は[こちら](#)をご覧ください。

「産学官金連携交流会 mini」テーマ募集中！

テーマを一つに絞って講演2つと交流会で構成される産学官金連携交流会 mini で取り上げてほしいテーマを随時募集しています！交流会 mini は、研究コンソーシアムや共同研究グループ立ち上げのきっかけの場としてもご活用頂いています。

*リクエストは、[お問い合わせフォーム](#)からお送りください。

《 コラボパン販売中！ 》

満寿屋商店様と帯広畜産大生サークル「あぐりとかち」のコラボパン4品が紹介されました。

*詳細は、[十勝毎日新聞様電子版](#)から。



(写真はイメージです。)

お知らせ

■「十勝アグリ&フードサミット」の開催について。

農業を中心とした一次産業と食の事業創発ビジネスカンファレンスです。(主催：公益財団法人とかち財団)

【日時】10月12日(木) 9:00～16:30 | 【会場】ベルクラシック帯広 | 【参加費】無料(詳細は[こちら](#))

■「スクラム十勝シンポジウム 2023」を開催します。

十勝圏に存立する6つの研究機関等が年1回開催しているシンポジウムです。

【日時】10月24日(火) 14:00～16:45 | 【会場】とかちプラザ視聴覚室会場とオンライン | 【参加費】無料

(詳細は、スクラム十勝シンポジウム 2023 事務局まで。TEL: 0155-49-5829 E-mail: crcenter@obihiro.ac.jp)

■ 2023 北海道 ビジネス EXPO に出展します！

ビジネス EXPO は北海道最大級のビジネスイベントです。本学は、学術・試験研究機関展示ゾーンに出展します。

【日時】11月9日(木)・10日(金) | 【会場】アクセスサッポロ | 【入場】無料 (詳細は[こちら](#))

PICK UP!

畜大研究情報



学内の研究情報などをピックアップしてお届けいたします。
今回は各教育ユニットの卒業研究のテーマについてご紹介します。
本学の教員はこうした研究も指導しています。

家畜生産科学ユニット

詳細こちら

●マウス卵子の受精及び胚発生における時計遺伝子 Bmal1 の役割 | ●ウシにおける Exendin の N 端側配列の置換による血糖値への影響 | ●夏期間における肥育豚へのベタイン給与が維持行動ならびに発育成績に及ぼす影響 | ●障がい者乗馬が馬に与えるストレスの評価 | ●パラグアイ共和国イタプア県の小規模酪農家における乳質改善の取り組み



環境生態学ユニット

詳細こちら

●氷河期からの遺存種ヤチカンバとその競合種ハンノキの根系共生菌の種構成 | ●ヤマグワの葉の立体形状と切れ込みの適応的意義 | ●天然林における季節によるエゾモモンガの繁殖パターンの相違 | ●森林においてササ類の高さがニホンジカの生息地利用に与える影響 | ●カボチャの結実に与えるマルハナバチ類の影響 | ●耕作放棄地の新たな価値: 鳥類保全と農業生産性向上の両立



食品科学ユニット

詳細こちら

●ジャガイモ有用共生細菌 Streptomyces sp. の生化学的解析及び植物組織局在性 | ●加工用馬鈴薯のカルシウム施肥による加工特性への影響 | ●アスパラガスを給餌した羊の乳の特徴解析 | ●トマトパウダーが加熱ソーセージの脂質酸化及び官能特性に及ぼす影響 | ●ホエイパーミエート・小麦粉混合原料からの米麴を利用した糖化・発酵の条件検討 | ●米粉の消化分解後残渣物の in vitro 試験における腸内環境改善効果



農業経済学ユニット

詳細こちら

●酪農経営における最適泌乳期間に関する研究 | ●飼料用米活用による採卵鶏経営の存立条件 | ●十勝畑作地域における GPS ガイダンスシステム利用者の特性と普及課題 | ●ミャンマー山岳地域におけるソバ栽培の課題と意義 | ●HACCP 認証の理解が消費者の牛乳選択行動に及ぼす影響の分析 | ●エゾシカ肉の有効利用～小学校における給食利用の可能性～



農業環境工学ユニット

詳細こちら

●ブームスプレーヤの散布高さ検出のための PSD センサについて | ●十勝地域におけるカラマツ年輪と土壌凍結との関係 | ●通気量自動制御による堆肥化システムの普及開発とその有効性の評価 | ●農業小流域河川の水質環境と窒素収支の算定 | ●土～タイヤ間のすべりの違いが農用タイヤラグ接地圧におよぼす影響 | ●アイスシュルター型農産物貯蔵庫の貯氷室内における 3 年間の製氷環境



植物生産科学ユニット

詳細こちら

●昆虫寄生菌と天敵寄生蜂併用によるワタアブラムシ防除効果の評価 | ●十勝地域及び上川地域におけるバレイショの生育や品質に及ぼす諸因子の解明 | ●トマト表面に存在するトライコームの成長過程の組織化学的な観察 | ●コムギにおける不良土壌適応性の遺伝変異 | ●ダツタンソバの収量改善に向けた適切な摘芯処理時期の検討



リクエスト・相談・お問い合わせフォーム

プラットフォームのみなさまからのリクエストや相談、お問い合わせを受付するフォームです。
プラットフォームに関することや企画へのリクエストなど、どしどしお寄せください！

URL : <https://forms.gle/fojoUbsDsYDrm96w6>



帯広畜産大学は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています



発行：国立大学法人北海道国立大学機構
帯広畜産大学 産学連携センター
産学連携推進室
(担当：東・高橋・輿水)

〒080-8555
北海道帯広市稲田町西 2 線 11 番地
E-mail : crcenter@obihiro.ac.jp
TEL : 0155-49-5771



帯広畜産大学 企業等集積プラットフォーム

発行：帯広畜産大学 産学連携センター
HP : <https://www.obihiro.ac.jp/facility/crcenter/>
E-mail : crcenter@obihiro.ac.jp

NEWS LETTER

Vol. 8 2023.11.10

NEWS

プラットフォームの参画状況

参画機関は 85 社 (107 名) です！

産 75 社
学 2 機関
官 5 機関
金 3 機関

プラットフォーム HP は [こちら](#)



プラットフォームのデザインが新しくなりました。

企業等集積 プラットフォーム 成長中！

帯広畜産大学企業等集積プラットフォームにご入会いただきありがとうございます。

プラットフォームでの情報をニュースレターにて定期的に配信していきます。気になる情報や分からないことがあれば、[お問い合わせフォーム](#)までお寄せください！



完了

令和5年度 産官学金連携交流会を 開催しました！

9月25日に「令和5年度産官学金連携交流会」を開催しました。今回は酪農をテーマに開催しました。第1部の研究室訪問に続いて、第2部の講演会は会場とオンラインで開催し、計217名の方にご参加いただきました。*詳細は [こちら](#)

スクラム十勝シンポジウム 2023 を開催しました！

10月24日に「食料安全保障の強化に向けて」をテーマに開催しました。肥料、飼料の高騰に苦しむ十勝の農業経営者が持続的に安全・安心な食料供給を続けられるよう、スクラム十勝の関係機関における現在進行中の研究課題、これから実施を予定している取組みなどを紹介しました。当日は会場とオンラインで、計142名の皆様にご参加いただきました。

*詳細は [こちら](#)



完了



公募・セミナー情報 &お知らせ



畜大フォトギャラリー

ANNOUNCEMENT

公募・セミナー情報 この機会にぜひご参加ください。

●農畜産プロフェッショナル経営人材育成プログラム

農業経営特別セミナー『十勝農業の歴史と展望』（講師: 帯広市川西農業協同組合代表理事組合長 有塚利宣氏）を開催します。

【日時】11月18日（土）13:00～14:30 | 【会場】帯広畜産大学 講義棟大講義室

【参加費】無料（詳細は[こちら](#) | 締切:11月13日）

●2023年度「HACCP・食品安全管理プログラム」帯広セミナー

食品製造・加工に関わる方を対象に、HACCP 制度化に必要となる情報提供を行い、スムーズな制度導入のフォローすることを目的として実施します。

【日時】（第4回）11月16～17日 9:00～17:00 内部監査研修（有料）

（第5回）12月1日 13:30～15:00 食品表示の基礎（無料）

【申込方法】開催回数ごとに申込締切日が異なります。詳細は[こちら](#)をご覧ください。

「産学官金連携交流会 mini」テーマ募集中！

テーマを一つに絞って講演2つと交流会で構成される産学官金連携交流会 mini で取り上げてほしいテーマを随時募集しています！交流会 mini は、研究コンソーシアムや共同研究グループ立ち上げのきっかけの場としてもご活用頂いています。

*リクエストは、[お問い合わせフォーム](#)からお送りください。

お知らせ

■「ビジネス EXPO～第37回北海道技術・ビジネス交流会」に出展します。

【日時】11月9.10日（木.金） | 【会場】アクセスサッポロ | 【参加費】無料（詳細は[こちら](#)）

■「帯広畜産大学の広報に関するアンケート」の実施について

本学のホームページ、公式 SNS、広報誌等をご覧いただいている皆様へ。【実施期間】11月30日（木）まで本学の広報活動の改善のため、本アンケートへのご回答にご協力をお願いいたします。（回答 URL は[こちら](#)）

《ちくだい×SDGs の

連載が閲覧できます！》

2023年も十勝毎日新聞様の電子版で、ちくだい×SDGs が掲載されています。

*今なら全文無料で閲覧できます。

*全部見たい方は[こちら](#)から。

（最近の掲載ナンバーより）

○ [【ちくだい×SDGs \(17\)】](#)

農業と生き物たちの関係を解き明かす
中島直久 助教

○ [【ちくだい×SDGs \(16\)】](#)

お母さんの脳を解き明かす
室井喜景 准教授



PICK UP!

畜大研究情報

～本学の産学連携メニューのご紹介～

技術相談の窓口

本学では、産学連携センターが企業等から本学への技術相談についての最初の窓口となり、様々な課題を解決するために以下のメニューなどから最適な連携について提案します。*詳しくは、[産学連携センターのパフレット](#)をご覧ください。

【共同研究】

本学の共同研究は、大学と民間企業等が対等の立場で共同して研究を行うもので、次の2つの形態があります。

1. 大学が民間企業等から研究者（「共同研究員」と言います）と研究経費を受入れて、共同研究員と共通の課題について対等の立場で共同して行うもの。
2. 大学と民間企業等が、それぞれの施設で共通の課題について分担して行い、大学が共同研究員と研究経費または研究経費を受け入れるもの。

*詳しくは、[大学 HP-研究情報（共同研究）](#)をご覧ください。

【受託研究】

本学の受託研究は、大学が外部から委託を受け、特定の課題について委託業務として行う研究で、受託研究に要する経費は委託者が負担します。なお、その研究成果については、委託者に報告されます。また、受入れは、本学の教育研究上有意義で、かつ、本来の教育研究に支障を及ぼすおそれがない場合に限ります。*詳しくは、[大学 HP-研究情報（受託研究）](#)をご覧ください。

【学術指導】

企業等からの委託を受けて、本学の教員が既存の研究成果や専門知識に基づき指導及び助言（学術指導）を行い、企業等の業務または活動を支援するものです。*詳しくは、[大学 HP-研究情報（学術指導）](#)をご覧ください。

【寄附金】

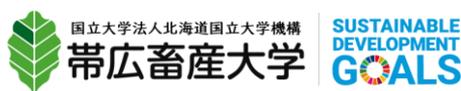
寄附金とは、本学の学術研究や教育の充実・発展及び大学の運営を支援するために、企業や個人から教育研究の奨励を目的とする寄附金を受入れ、学術研究や教育の充実・発展に活用する制度です。*詳しくは、[大学 HP-研究情報（寄附金）](#)をご覧ください。

リクエスト・相談・お問い合わせフォーム

プラットフォームのみなさまからのリクエストや相談、お問い合わせを受付するフォームです。

プラットフォームに関することや企画へのリクエストなど、どしどしお寄せください！

URL : <https://forms.gle/fojoUbsDsYDrm96w6>



帯広畜産大学は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

発行：国立大学法人北海道国立大学機構
帯広畜産大学 産学連携センター
産学連携推進室
（担当：東・高橋・輿水）

〒080-8555
北海道帯広市稲田町西2線11番地
E-mail : crcenter@obihiro.ac.jp
TEL : 0155-49-5771



帯広畜産大学 企業等集積プラットフォーム

発行：帯広畜産大学 産学連携センター
HP : <https://www.obihiro.ac.jp/facility/crcenter/>
E-mail : crcenter@obihiro.ac.jp

NEWS LETTER

Vol. 9 2024.1.10

NEWS

プラットフォームの参画状況

参画機関数 87 社（会員人数 109 名）です！

産 76 社
学 2 機関
官 5 機関
金 4 機関

プラットフォーム HP は [こちら](#)

新しい研究シーズ集ができました



*令和5年度版を全部見たい方は [こちら](#)

企業等集積 プラットフォーム 成長中！

帯広畜産大学企業等集積プラットフォームにご入会いただきありがとうございます。

プラットフォームでの情報をニュースレターにて定期的に配信していきます。気になる情報や分からないことがあれば、お問い合わせフォームまでお寄せください！



第7回 帯広畜産大学 産学官金連携交流会 mini を開催しました！

昨年12月7日に「第7回産学官金連携交流会 mini」を開催しました。今回は、企業等集積プラットフォーム構成機関から発足した未利用資源活用コンソーシアムのご紹介と、専門家による3つの講演が行われ、約70名の方にご参加いただきました。

*詳細は [こちら](#)

ビジネス EXPO に出展！

昨年11月9～10日の2日間、アクセスサッポロ（札幌市）で開催された北海道最大級のビジネスイベントに出展しました。ブースではポスターを展示し、「北見工業大学のセンサー技術を帯広畜産大学の牧草刈取り効率化技術の研究に活用した“大学連携による研究事例紹介や、各大学の取組みについて紹介しました。

*詳細は [こちら](#)



公募・セミナー情報 &お知らせ



畜大フォトギャラリー

ANNOUNCEMENT

公募・セミナー情報 ご興味のある方は、この機会にぜひご参加ください。

●**フードバレーとかち人材育成事業 農業生産者コース「GAP セミナー」**

GAP 認証取得を考えている農業者の方を対象として、GAP 認証取得に取り組む意義の周知、幅広い知識の習得を目的とした「GAP セミナー」の受講生を募集します。

【日時など】1月23日（火）GAP 概論（無料） | 1月31日（水）総合的病害虫管理（5,000円）
2月1、2日（木、金）HACCP 構築手法～畜産編～（20,000円）

【申込締切】1月15日（月）（*詳細は[こちら](#)）

●**フードバレーとかち人材育成事業 特別講習「ビジネスシーンでの RESAS の活用」**

本講習では、RESAS（地域経済分析システム）のデータ分析から、地域の現状・実態を把握する手法や考え方を学びます。RESAS に関して、座学において概要・活用方法等を学んだ後、実習形式でパソコンを使用しながら、データの取り扱いや考え方を体験する。PC の持参は不要です。

【日時など】2月5日（月）14:00～16:00（無料・定員 50 名）

【申込締切】1月29日（月）（*詳細は[こちら](#)）

「産学官金連携交流会 mini」テーマ募集中！

テーマを一つに絞って講演と交流会で構成される産学官金連携交流会 mini で取り上げてほしいテーマを随時募集しています！交流会 mini は、研究コンソーシアムや共同研究グループ立ち上げのきっかけの場としてもご活用いただいています。

*リクエストは、[お問い合わせフォーム](#)からお送りください。



プラットフォームのデザインが
新しくなりました。

お知らせ

■【事前告知】令和6年度農畜産プロフェッショナル経営人材育成プログラムについて

令和6年9月から約半年間にわたり開講します。プログラムの実施内容詳細につきましては、令和6年6月に予定している募集開始時に改めてご案内します。（*詳細は[こちら](#)）

【会場】帯広畜産大学 【形式】対面及びオンデマンド（受講料 15 万円・定員 20 名程度）

PICK UP!

畜大研究情報

～ 産学連携センターのご案内 ～

産学連携センター 【施設案内】



産学連携センターでは、十勝帯広を中心としたわが国の農業を基盤とする産業競争力強化に貢献すべく、企業、団体、公的試験研究機関等との研究連携を充実させるため活動しています。

※[産学連携センターパンフレット](#)

※[施設案内](#)（御用の方は1階事務室までお越しください。）

※[研究シーズ](#)（本学の研究シーズがお役にたてる可能性がありますらご連絡ください。）

産学連携センター共同利用設備ステーション

産学連携センター共同利用設備ステーションでは、本学が定める[研究機器共同利用推進ポリシー](#)のもと全学的な研究設備・機器の共同促進と整備等のマネジメントを行い、学内外の利用を促進しています。学外の方は、共同利用設備ステーションまでお問い合わせください。Email: kyotukiki@obihiro.ac.jp | Tel: 0155-49-5342（*詳細は[こちら](#)）



※（共同利用設備ステーション HP-共通機器ポータルサイトより）[共通機器ポータルサイト](#)（共通機器の詳細情報）

※（共同利用設備ステーション HP-機器一覧料金表より）[共通機器の基本料及び利用料単価表](#)

※（共同利用設備ステーション HP-各種申請より）[共通機器利用申請書（法人外）](#)（Word 様式）

リクエスト・相談・お問い合わせフォーム

プラットフォームのみなさまからのリクエストや相談、お問い合わせを受付するフォームです。
プラットフォームに関することや企画へのリクエストなど、どしどしお寄せください！

URL : <https://forms.gle/fojoUbsDsYDrm96w6>



発行：国立大学法人北海道国立大学機構
帯広畜産大学 産学連携センター
産学連携推進室
（担当：東・高橋・興水）

〒080-8555
北海道帯広市稲田町西2線11番地
E-mail : rccenter@obihiro.ac.jp
TEL : 0155-49-5771



帯広畜産大学 企業等集積プラットフォーム

発行：帯広畜産大学 産学連携センター
HP : <https://www.obihiro.ac.jp/facility/crcenter/>
E-mail : crcenter@obihiro.ac.jp

NEWS LETTER

Vol. 10 2024.3.5

NEWS

プラットフォームの参画状況

参画機関数 86 社（会員人数 109 名）です！

産 74 社
学 2 機関
官 6 機関
金 4 機関

プラットフォーム HP [はこちら](#)

企業等集積 PLATFORM

大学と企業等の
連携のタネを増やして育てる。

本プラットフォームでは、
帯広畜産大学 産学連携センターを軸とした
会員企業等の相互交流を回り、
研究成果の円滑な社会実装を目指しています。



企業等集積 プラットフォーム 成長中！

帯広畜産大学企業等集積プラットフォームにご入会いただきありがとうございます。

プラットフォームでの情報を
ニュースレターにて定期的に配
信していきます。気になる情報
や分からないことがあれば、
[お問い合わせフォーム](#)までお寄
せください！

産学連携の取組みと新商品 の記者発表を行いました！

2月6日、エスコンフィールド HOKKAIDO
(北広島市)にて日本ハム株式会社、東京農
業大学、江別製粉株式会社、敷島製パン株式
会社および本学による産学連携の取組みと新
商品の記者発表を行いました。小麦新品種
「えふのちから」、新商品「シャウ Meat マ
フィン」などの取組みを説明しました。

*詳細は[こちら](#)

帯広畜産大学とカルビーポテ ト株式会社の共同研究成果 発表会を開催しました！

3月1日、本学講堂にて、本学とカルビーポ
テト株式会社との共同研究成果発表会を開催し
ました。発表会では、今年度得られたバレイシ
ヨ栽培における施肥技術や土壌改良と、その技
術普及を目指す報告が行われました。当日は雪
模様でしたが、たくさんの方がお越しになり、
約 230 名の方にご参加いただきました。



完了



公募・セミナー情報 & お知らせ

ANNOUNCEMENT

公募・セミナー情報 この機会にぜひご参加ください。

●帯広畜産大学公開講座 令和6年度前期「市民開放授業」

本学では、学生が受講している授業科目の一部を市民の皆様へ公開しています。公開する授業科目は、基礎科学分野等の知識と興味を育むことを目的に、開講している授業です。

【申込締切】3/22（*詳細は[こちら](#)をご覧ください。）

（開催講座の一例）

○講座名：共通教育総合Ⅰ（とち学 ～十勝のキーマンから学ぶ～）

講師：東陽介 他 | 水曜日 8:45～10:15

この授業では、大学生活の4年間を過ごす十勝地域について、歴史、文化や自然環境といった十勝の「特色」に加え、第一次産業および第二次産業を中心とする「産業」、地方の人口減少に起因する様々な地域の課題に対する「地方創生」の取組みについて、行政機関、地域団体、民間企業経営者等から講師を招き、その現状や課題、将来展望について学ぶ。更に、十勝地域の本学への期待と役割について理解を深めるとともに、十勝に住む方が感じる地域の魅力に触れることで、十勝に対する理解を深める。

令和5年度 ご退職される 先生の最終講義

令和5年度をもって、本学をご退職される先生の最終講義についてご案内します。

◆日時：3月15日(金)

15:00～16:00

◆会場：講義棟1階大講義室

*申込不要。直接会場にお越しください。

（受講無料）

*詳細は[こちら](#)。



お知らせ

本学構内の酒蔵「碧雲蔵」で実施している令和5年度の「学生の酒造りプロジェクト」による日本酒、特別純米「萌宥（ほうゆう）」が完成しました！

* 詳細は、[帯畜生協 SHOPPING GUIDE](#)をご覧ください。

<https://chikudai.raku-uru.jp/>



「産学官金連携交流会 mini」テーマ募集中！

テーマを一つに絞って講演と交流会で構成される産学官金連携交流会 mini で取り上げてほしいテーマを随時募集しています！

交流会 mini は、研究コンソーシアムや共同研究グループ立ち上げのきっかけの場としてもご活用いただいています。

* リクエストは、[お問い合わせフォーム](#)からお送りください。

PICK UP!

畜大研究情報



畜大フォトギャラリー

最近の研究情報などをピックアップしてお届けいたします。

〔受賞研究〕「Flowering Date1, a major photoperiod sensitivity gene in adzuki bean, is a soybean floral repressor E1 ortholog」

(訳：アズキの主要な光周期感受性遺伝子である Flowering Date1 は、ダイズの花成抑制因子 E1 オルソログである。)

環境農学研究部門の加藤清明教授、グローバルアグロメディシン研究センターの森正彦准教授および人間科学研究部門の得字圭彦准教授らと北海道立総合研究機構との共同研究による論文が、日本育種学会論文賞を受賞しました。受賞した論文は、北海道などの高緯度地域での小豆の安定栽培に欠かせない開花特性を決定する遺伝子を世界に先駆けて特定しています。

※詳しくは[こちら](#)。

〔受賞研究〕モンゴル国「卓越研究者賞」を受賞

原虫病研究センターの井上昇教授が「卓越研究者賞」を受賞し、モンゴル国教育文化省・科学技術イノベーション政策・実施局長 D. Battogtokh 博士から表彰状が手渡されました。井上教授は、モンゴル生命科学大学獣医学研究所および獣医学部と協力し、JICA/AMED 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム (SATREPS: 2013 ~ 2018) などの国際共同研究を多数実施しました。

※詳しくは[こちら](#)。

令和 5 年度の帯広畜産大学の取り組み

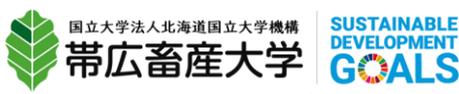
畜産フィールド科学センターに新しい牛舎・搾乳舎が完成しました。左の写真は、新牛舎・搾乳舎と、昨年のオープンキャンパスでの搾乳体験の様子です。安全で機能的な教育研究施設とすることを目的としています。新施設のコンセプトなどは[こちら](#)からご覧いただけます。



リクエスト・相談・お問い合わせフォーム

プラットフォームのみなさまからのリクエストや相談、お問い合わせを受付するフォームです。プラットフォームに関することや企画へのリクエストなど、どしどしお寄せください！

URL : <https://forms.gle/fojoUbsDsYDrm96w6>



帯広畜産大学は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています

発行：国立大学法人北海道国立大学機構
帯広畜産大学 産学連携センター
産学連携推進室
(担当：東・高橋・興水)

〒080-8555
北海道帯広市稲田町西 2 線 11 番地
E-mail : crcenter@obihiro.ac.jp
TEL : 0155-49-5771

国立大学法人北海道国立大学機構 帯広畜産大学 産学連携センター
令和5年度活動報告書

発行日 令和6年 5月

発行者 国立大学法人北海道国立大学機構 帯広畜産大学 産学連携センター

〒080-8555 北海道帯広市稲田町西2線11番地

TEL : 0155-49-5771 FAX : 0155-49-5775

E-mail : crcenter@obihiro.ac.jp

URL : <https://www.obihiro.ac.jp/facility/crcenter/>